

第3滑走路・部落別説明会を

徹底追及の場に

芝山町、多古町などで、第3滑走路の部落別説明会が始まりました。当初、10月にすべてを終了する予定でいた国交省、NAA、自治体は、想像以上の反対の声に焦り、小規模説明会を行い、怒りの声をなだめようとしています。しかし、「説明」の中身が変わるはずはありません。

公表された議事録（横芝光町ホームページ）を見ても中身のある回答はなく、「ご意見をふまえて検討をしたい」、「批判を真摯に受け止めたい」などという空論だけ。

これらすべては、2010年の22万回化、30万回化時、13年の深夜・早朝便延長時に聞かされてきた言葉ばかりです。住民は「そんな言葉はもううんざりだ」「これ以上の騒音は命に係わる」と痛切な声を上げているのです。

部落別説明会では「納得しない」態度を示すことが大事です。NAA、国交省などは「納得いただけるまで説明する」と言っていますが、「住民は納得してないぞ」という態度をはっきり示し、「検討結果」の報告を求めるなど追及し続けましょう。ともに声をげたいと思います。



「成田は内陸空港だ」と強い反発が出た10月3日の成田騒対協説明会



反対同盟は各会場前で、ビラまきと訴えを行った（写真は10月16日 芝山文化センター）

市東さんの農地を守ろう

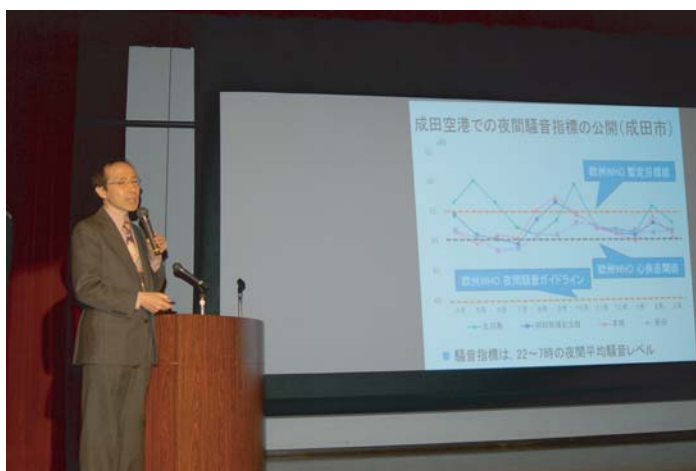
12・4三里塚現地闘争

13時30分 市東さん宅南側開拓組合道路集合 14時～デモ

騒音は化学物質より危険 心筋梗塞・高血圧が2倍

北海道大・松井^利仁教授が警鐘

「市東さんの農地取り上げに
反対する会」主催のシンポジ
ウムで講演する北海道大学の
松井利仁教授。成田空港での
騒音被害の深刻さに警鐘を鳴
らした（2014年11月29日
成田公民館）



成田空港は厚木基地の10倍の健康障害度

第3滑走路など「空港機能強化」計画が進められようとしています。航空機騒音による住民の健康被害の重大さがきちんと知らされていません。

2014年に「市東さんの農地取り上げに反対する会」が騒音問題のシンポジウムを成田公民館で行いました。ここで、第一人者である北海道大学の松井利仁教授が、騒音と健康被害の深刻な関係について警鐘を鳴らしました。松井教授は、「従来日本では騒音が生活の

迷惑程度にしか理解されてこなかったが、誤り」「騒音は重大な健康被害の原因となる」と強調しました。「騒音はダイオキシン、ベンゼンなどの化学物質よりも危険であり、心筋梗塞・高血圧になる危険性が2倍に高まる」と指摘しています。厚木基地訴訟での住民側の勝訴は、松井教授の鑑定意見によるものです。

激しい騒音にさらされる周辺住民にとって空港機能強化案は命を縮めるものであり論外です。

厚木基地訴訟で初めて飛行差し止め判決

2015年神奈川県厚木基訴訟で自衛隊機の飛行差し止めが認められました。この裁判を支援した松井教授は、「成田の健

康障害度は厚木基地の10倍も深刻」「飛行差し止めが認められるレベルだ」と指摘しています。

市東孝雄さんと反対同盟は反撃の記者会見を行った(10月27日)



最高裁による 上告棄却弾劾

12・4 現地闘争で反撃へ

10月25日、最高裁第3小法廷の大谷剛彦裁判長は、市東孝雄さんの農地法裁判において、上告棄却の反動決定を強行しました。これは、「農地は命」と有機農業に打ち込む市東さんの人生を否定する攻撃であると同時に、農地法による農地の強奪を追認したという点で、全国260万農民への敵対宣言です。許してはなりません。

市東さん「体張り農地守り抜く」

市東さんと反対同盟は直ちに記者会見を行い、弾劾声明を發しました。市東さんは「こんな決定は絶対に認められない。農地を奪いに来るなら体を張って守り抜く」と宣言しました。反対同盟は、12月4日に三里塚現地闘争を闘い、「強制収用」攻撃と



9・7 最高裁包囲デモ

対決する方針を發表しました。

全国から弾劾と激励のメッセージが市東さん・反対同盟のもとに寄せられています。数々の違法と不当を居直って農地強奪を試みる最高裁・NAAに対しては、実力闘争に立ち上がります。ともに闘いましょう。

民主労総(韓国の労働組合)を迎え11回目の交流

パククネ政権打倒へ無期限ゼネストを闘う韓国から民主労総の労働者35人が三里塚現地を訪れ、反対同盟と11回目の交流をしました。訪日に応じて11月12日、ソウル市庁前広場での「20万人民衆決起大会」には、反対同盟から萩原富夫さんが訪韓し、共に闘いました。



交流会の最後に記念撮影(11月4日)

地域住民の声

成田～芝山～多古～

前回に続いて今回も空港周辺地域で行われた説明会での住民の声を紹介します。山武市、多古町など、怒りの声は高まるばかりです。

◆10月13日、多古町説明会

- ・「移転という結論ありきの説明会は納得できない。水田をつぶして空港を造ると言うが、空港がそんなに必要なのか。疑問だ」
- ・「他の空港との競争で勝つために機能を強化するというが、それは加害者側の勝手な都合だ。われわれ被害を受け続けて来たものの身にもなってほしいと思う。提案は受け入れられない」
- ・「防音工事、防音工事というが、どれだけ効果があるか分かってるのか。寝室に内窓をつけるというが、すでにやっている人がいて、騒音は屋根の上からも降ってくる。効果がないといっている。寝室だけが生活空間じゃない」

◆10月18日、横芝光町説明会

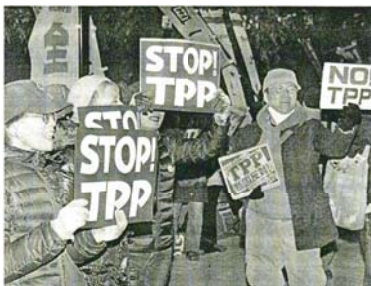
- ・「朝5時から深夜1時まで飛行機が飛んで安眠できるのか。ハブ空港は羽田ではないのか。成田空港がアジアの中で1番になる必要があるのか。そんな必要はない。これ以上の騒音はがまんができない」
- ・「健康維持のためには医学的にどれくらいの睡眠が必要か。飛行時間の緩和は住民の健康を度外視していると思う。2～3年後には24時間空港になってしまうのではないかと認められない」

◆10月29日、山武市住民説明会

- ・「地元合意が前提と言うが、そもそも『地元合意』とは何を指すのか。前回2013年の時間拡大時にも自分たちは地元として合意した覚えはない。そんな無謀なことを今回も通すのか。納得できない」
- ・「睡眠時間は人間の一生の3分の1を占める最も大切な時間。それが削り取られることを自分たちの知らないところで勝手に決められるなど冗談じゃない」
- ・「現状でもすでに同じ部落内で扱いが3通りになっている。さらに地域が分断される。断固反対だ」

11・10

安倍政権によるTPP強行採決弾劾



抗議する人びと（11・10）

11月10日、政府与党は、TPP承認法案・関連法案について、衆院本会議での強行採決を行いました。TPPは農業、食料、医薬・健康、労働現場、知的財産など、社会のすべてを新自由主義の「命より金もうけ優

先」のやり方に変える許しがたい協定です。

アメリカでトランプ氏が大統領に当選して「TPPからの離脱」が確定的になっています。TPP自体が崩壊する中で強行採決を許すことはできません。